

第18号



まつかぜ

発行者
平和学園小学校同窓会
茅ヶ崎市富士見町5-2

発行日
2019年9月20日

編集・印刷
サイン印刷

題字
前学園長 中山 洋 司

同窓会のみなさま、こんにちは

平和学園小学校同窓会会長
平和学園・アレセア湘南校友会会長 倉澤 糸太

今年度の小学校同窓会世話人総会および校友会総会では、同窓会運営や学園支援のために平和学園の卒業生が互いに協力をしていくことが確認されました。

そのためには各同窓会がその垣根を越えて互いに助け合っていくことが大切だと考えています。さらに先般「旧職員の会」開催にあたり事務的サポートを校友会で行いましたが、今後その支援体制について模索していきます。

その実現のため校友会と共につぎのような活動を計画しています。

学園支援と学園同窓生のためのホームページの作成

待望の校友会ホームページを本年6月にスタートさせました。ぜひのぞいてみてください。会員とともに作っていくホームページです。情報もアイデアもご協力をお願いします。

小中高の卒業生名簿の一括管理・運用に向けた体制づくり
平和学園として各同窓会の名簿が分かれているため事務的な管理が煩雑化しています。中高同窓会へ働きかけ、一元化に向けて各同窓会が協力してできる環境をつくっていきたくと考えています。

旧職員の会活動への支援

平和学園に奉職された先生方、職員方の情報がまとまっていません。今年で13回を数える旧職員の会親睦会は数人の有志の先生方の奉仕で開催されてきましたが、名簿整備、案内連絡、史料編纂などを同窓生が支援していく形を模索していきます。

これまで小学校同窓会として行ってきた、以下の事業はもちろん続けていきます。

プレイデー（新入生歓迎会およびホームカミングデー）、バザーなどのPTA・学校行事への協力・支援
機関紙「まつかぜ」の発行（学園広報同封）
卒業生への記念品贈呈
校友会事業である、クリスマス・パイプオルガン・コンサートおよびジャズ・コンサート等の開催協力

アレセア湘南 発足20周年記念同窓会は来年へ

本年秋に予定していた「アレセア湘南発足20周年記念同窓会」はアレセア湘南高等学校の開校20周年を待って、来年秋の開催となりました。

現在アレセア湘南卒業生を中心に発起人会の準備が進んでいます。

発起人会に参加して、どのような会にするか、企画に運営にアイデアを出してください。

学校行事との関係でまだ正式日時をお知らせできません。ホームページには随時新しい情報を掲載します。

ホームページ開設 <https://heiwa-gakuen.com>

ホームページはこうなっています

パソコン版とスマホ版があります。同窓会ホームページのことをアレセア卒業生にも広く知らせてください。



平和学園・アレセア湘南校友会

サイト内キーワード検索



● 会員情報変更届け

● 会員情報投稿フォーム

社会で活躍する
平和学園の同窓生

・ 同窓生の今を見る

小学校からの便り

平和学園小学校校長 佐藤 陽明

平和学園小学校でこの4月から校長の役割をさせていただいている佐藤陽明です。

同窓会の皆様には優しい眼差しで平和学園を見守っていただいていることに感謝しております。ありがとうございます。

賀川先生・村島先生の強い意思であるキリスト教の実践教育を引き継ぎ、歴史から学ぶ姿勢と、歴史を進歩させるために歴史が存在することを忘れず、児童の命と成長を第一として、教職員と保護者全員の力で進歩する小学校でありたいと思っています。賀川先生の生き方は、聖書に書かれている、『よきサマリア人』を理想としています。具体的には、イエスが行った隣人愛の実践につきます。無条件の愛を基本とした教育を、児童と共に育み、茅ヶ崎の地から創立者の強い思いである実践の重要性を発信したいと心から願っています。

小学校の教育は自己肯定感をすべての教職員、児童と保護者に持っていただくことから始まります。自由であること、この平和学園が自分の居場所であること。その安心感と自己肯定感により、神さまに感謝しつつ、失敗を恐れず積極的に前に歩むことができます。自己肯定感を継続し、その集大成が卒業論文です。6年生全員の各個人が自分の一番興味ある事を卒論として発表し、自分を理解してもらうための努力をします。そして、友だち一人ひとりが大事にしていることを卒論の発表で知り、人への理解を深め、卒業していきます。

教育の目的は人を自分と同じように愛し、人を良く理解し、人と信頼関係を持つことです。人を理解する力を持つと、信頼関係が生まれ、社会で生き抜くことが可能となります。そこから人に必要とされ、人を支え、人に支えられて自分らしく生きることができるようになります。

教職員は幼稚園の教職員と共に、人を支えられる豊かな人間になれるよう、毎日職員礼拝で神に祈りをささげています。

コミュニケーション能力も信頼を得るためのツールとして捉えています。任せられる人と任せることができる人になることがこの世の中を生き抜く知恵だと考えて様々な行事を行っています。特に小学校は、少人数教育で深い信頼関係を持ち、学校行事を通し、各自が役割を果たすことで社会が成り立つことを学んでいます。一つ一つの行事で子どもたちが

個々成長することを確認しながら教育を実践している教職員と保護者を今後ともよろしく願いいたします。

最後にこの「まつかぜ」をお読みの同窓会の皆様には、社会人として、卒業生として、平和学園小学校に皆様一人ひとりができることをお示しいただき、肯定感のある前向きな知恵をお貸し下さるよう、今後とも、よろしく願いいたします。

同窓会の皆様のご活躍をお祈りしております。

自己紹介



さとう ようめい
佐藤 陽明

学歴・職歴

1951年7月13日 東京生まれ
青山学院初等部～青山学院大学経営学部
卒業（16年間青学在籍）

- 1972年（大学生2年次）プロカメラマン
- 1973年（大学4年次）東京放送（現TBS）契約社員
- 1974年2月（大学4年在学中）岩手県岩泉中学校常勤講師（教科：数学・理科・保健）となり、大学卒業後も勤務を継続。5月より岩泉町教育委員会に採用。岩泉小学校月出分校（3級僻地）に常勤講師として赴任。2年担任経験後、3年・4年複式学級担任となる。在職中に岩手県教育委員会僻地研究部会で「語彙不足の研究」（『語彙不足と知能の関係について』）を発表。
- 1976年（株）美光写苑・研究所・写場に勤務。
- 1977年 関東学院六浦中学高校教諭（社会科）。
- 1992年より関東学院大学経済学部及び文学部で中高教職科目・公民科教育法を10年間担当（六浦中高と兼務）。関東学院短期大学で2年間『課外教育の研究』を担当（大学・六浦中高兼務）。2002年退職。
- 2002年から2009年の7年間で、塾・教室・教育相談（三軒茶屋）・犬山市で国際観光旅館ホテル総支配人を経験。その後、横浜で医療法人明生会顧問・銀座の一枚の絵（株）企画部顧問等を経て、2009年、目白の日本聖書神学校プライダルの総支配人に就任。この間アレセア湘南中学高等学校の社会科非常勤講師を兼任。2011年1月から2019年3月まで平和学園小学校教頭。2019年4月より校長。

第33回 平和学園 クリスマス・チャリティー パイプオルガン・コンサート 「聖夜の音楽博物館」

昨年12月8日には33回目の平和学園パイプオルガン・コンサートが、後藤香織氏の企画・構成・演奏で開催されました。岡崎晃先生の聖書朗読を交えたクリスマス楽曲の演奏、ヘアメイクと音楽のコラボレーションという異色の演出を楽しみ、後藤氏のほか声楽家・岩本久美氏、ヴァイオリニスト・TOKO氏、平和学園パイプオルガン講座受講生が共演してコンサートを盛り上げてくれました。

賀川村島記念講堂いっぱいのお客様から寄せられたチャリティー寄金は、茅ヶ崎市内の児童養護施設「白十字会林間学校」、「こどもの園」、「茅ヶ崎学園」に後日、贈呈されました。ご協力ありがとうございました。

THE 10TH JAZZ LIVE CONCERT SHONAN

スウィングJAZZを海の風に乗せて！
映画音楽も楽しもう！！

校友会主催のジャズ・ライブが今年で10周年を迎えました。2019年5月19日、賀川村島記念講堂に、秋満義孝（ピアノ）・五十嵐明要（アルトサクソ）・二井田ひとみ（トランペット）・ジャンボ小野（ベース）・八木秀樹（ドラムス）・野村佳乃子（ヴォーカル）のみなさんを迎えて開催され、500名を超える観客が2時間のスウィング・ジャズの演奏を堪能しました。

平和学園理事長職を振り返って

平和学園前理事長
平和学園小学校同窓会前会長 山口 洋一郎
(1959卒)



本年3月に12年間の学校法人平和学園の理事長職を退任いたしました。

在任中は、同窓会の皆様には多大なるご支援ご助力をいただき、厚く感謝いたします。

私は、平和学園小学校を昭和34年に卒業しました。

学校法人平和学園に関係するようになったのは、約25年前に、平和学園小学校同窓会長となって5年程過ぎたころ、同窓会長という立場で理事の末席に並ばせていただいたのが始まりです。はじめは、全く違う世界でしたので戸惑うばかりでした。しばらくして平和学園創立60周年を迎えることになり、理事会からその実行委員長を仰せつかりました。

今から思うといくつものイベントを前年と60周年の年に企画実行しました。

長らく女子校だった中高が共学のアレセア湘南となったことを含めて、平和学園・アレセア湘南があまり地域社会に知れ渡っておらず、生徒数も漸減傾向にあって、経営的にも赤字の状態でした。まず、地域の人たちに学園の門をくぐってもらおうと、プレと称して前年に平和学園に関する登山家三浦雄一郎さんを、そして60周年には養老孟司さんを招いての講演会(約1200人来場)を開催し、そして年末のパイプオルガンコンサートに同期の沼尻さんをウィーンから招聘したり、今までの学園で行ってきた平和祭等の行事のブラッシュアップをしたりと、かなり盛りだくさんの計画をしたのを記憶しています。

傍で支えてくださった夏村理事長が、終わった年に、こう話しかけてこられました。初代学園長村島先生の「いつかこの学校卒業生が理事長になってくれれば」とのお言葉を実現したいということで私に理事長就任の要請がありました。1年間悩んだ末に、お引き受けすることにいたしました。

就任当時、学園は前述のように大変な状況でした。同じ年に学園長となられた中山学園長はこの危機を打開すべく「アレセアクォリティー」という目標を掲げ、先生方のご努力

により生徒の生活態度は著しく向上していきました。その目途が立った後、今度は学業の充実を図って国際英語塾を開設し、現在のグローバル教育へと発展していったのです。バスケット部の強化も欠かせない施策でした。中山学園長の功績は大なるものがあると考えております。私は、中山先生の施策の後押しをいつもしてまいりました。やっと3,4年前から学園は黒字に転換し、活気ある学校に生まれ変わったと思います。

私は理事長になって、一番力を入れたのが地域社会に可愛がられる学校になってほしいということでした。私が地域社会と深くつながっていたこともあります。茅ヶ崎市唯一の私立学校が地域の方々に応援してもらえるようにならなければ存立は危ういと思いました。理事長就任後、後輩の倉澤会長に同窓会長をお願いしました。倉澤会長には晴天の霹靂だったと思いますが、茅ヶ崎市の地域社会で活躍をされておられるその人脈が、学園を更に地域社会に根付かすことになっていると思います。同窓会活動の安定した運営と、同窓会の連合体である校友会が主体になってのジャズコンサート、パイプオルガンコンサートの実施をはじめ、小学校にとどまらず学園理事として学園のクォリティーを高める為にご尽力いただいております。

私は、学園での生徒礼拝でいつも学園をHOMEと思ってほしいと話してきました。HOMEはそれぞれが、長い人生の中で心のふるさと、帰るところだという意味です。平和学園アレセア湘南で学んだこと、すなわち、勉強だけでなく、「人を思いやる心、人のためにつくすこと、平和を実現すること」を思い出し、立ち返るといふこと、それがHOMEです。平和学園を誇りとすることはそういうことです。

学園を誇りに思い、地域社会で活躍されている卒業生が、これからの平和学園をしょって立ってほしいと思います。教育者はもちろん重要ですが、教育界ではない、一般社会に生きてきた卒業生が理事長職を担うことが、学園の経営と学園長の担う教育をバランスよく発展させるのに必要だと思います。

平和学園同窓会は、同窓生の懇親の場を作ることはもちろん大切なことですが、誇りをもつとともに学園の発展のためにご尽力いただくのも大きな活動の柱であると思います。ぜひ、今後とも皆様が学園を支えていただくよう切にお願いする次第です。感謝とともに。

まつかぜ会のご案内

平和学園に縁のある方ならだれでも参加できる親睦会です。途中からの参加も自由なので、気軽にお出かけください。

日時：奇数月の第3木曜日 午後6時半から9時ごろまで
会場：スポーティブ・カフェ(茅ヶ崎市東海岸南2-11-13)
会費：飲食具合に応じた割り勘

バザール

11月2日(土) 11:00-14:00
(今年は11月3日ではありません!)

気軽にお出かけください。
ご来場の際は同窓会ブースにお声掛けください。
出展(販売・展示など)希望の方を募集しています。

旧教職員の“同窓会”

2019年6月29日(土)午後1時より、「旧職員と卒業生の集い」が開催されました。

ロビニアホールにて吉川友浩先生司式、井本克二先生の説教・祈祷と宮崎扶子先生の奏楽で開会礼拝が行われました。出席者全員(教職員18名、卒業生32名)で記念撮影ののち、ランチルームへ移動し、茶菓をいただきながら一人ずつ学園での思い出を話しました。

久しぶりの礼拝で、在学時を懐かしく思い出したと話された卒業生も多数おられました。療養中の飯野義子先生からはお手紙をいただき、是非、来年も皆で会いましょう!と約束し、夏村充先生のご挨拶により閉会となりました。

今年は、案内状発送、茶菓購入、会場準備、進行等に卒業生が積極的に参加して、これまで有志の旧職員で運営されていた「旧職員の会」の運営を、同窓会がお手伝いしました。今後、より多くの旧職員の方々にご案内できるよう、体制を整えてまいります。



2018年度会計報告 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
維持会費	253,000	「まつかぜ」印刷費	203,040
新卒者入会金	140,000	「まつかぜ」送料	153,676
バザー出店者協力金	27,000	印刷費(学園広報等)	104,598
バザー売上	5,710	新卒者記念品	34,776
預金利息	21	通信費	162
		維持会費振込料	9,400
		会議費	6,160
		ブレイダー協力金	20,000
		バザー雑費	9,000
		振替伝票印刷費	2,102
		ホームページ作成費(校友会への貸付)	129,600
小計	425,731	小計	672,514
前期繰越金	2,961,759	次期繰越金	2,714,976
合計	3,387,490	合計	3,387,490

2020年度 児童募集

平和学園小学校に直接お問い合わせください。
TEL 0467-87-1662

第34回 クリスマス・チャリティー パイプオルガン・コンサート

日時: 2019年12月7日(土) 午後1時半開演

会場: 平和学園 賀川村島記念講堂

出演: 後藤香織氏 ほか

入場無料: チャリティー寄金にご協力ください。(先着550名まで)

※75歳以上の卒業生は招待となります。卒業生受付にお申出ください。

The 11th JAZZ LIVE CONCERT SHONAN

日時: 2020年5月23日(土) 午後2時開演

会場: 平和学園 賀川村島記念講堂

出演: 未定

※チケットは2020年3月より販売予定

※75歳以上の卒業生は招待となります。卒業生受付にお申出ください。

平和学園小学校人事異動

橘 明子 (幼稚園専任へ) 原田 晴美 (新任)
小湊 将之 (幼稚園長へ) 丸山 貴大 (新任)
佐藤 陽明 (校長)

同窓会への連絡(中高卒業生もご利用ください)

メール・アドレス: heiwagakuen@gmail.com

郵便: 253-0051 茅ヶ崎市富士見町5-2

平和学園内平和学園小学校同窓会

電話: 0467-87-1662 (平和学園小学校にて取次)

同窓会への連絡がある旨お話いただければ、折り返し電話を差し上げます。

同窓会のお手伝いをして頂けるスタッフを募集しています!

維持会費納入のお願い

維持会費は同封の振込用紙を利用して納入していただきますよう、お願いいたします。銀行振込についてはホームページに掲載しています。

1口1,000円、何口でも結構です。

卒業後10年間は免除となりますが、発送作業の関係から、全員に振込用紙を同封しています。